

2021 年度 第3学期 教養教育		日英区分: 日本語
口腔感染防御論 Oral Infection and Immunology		
■ 講義番号	■ 科目区分	■ 学期
919045	教養教育科目	第3学期
■ ナンバリングコード	■ 教室	
NDGZQLAFZ4—N	総診療地下大講義室 講義室 1)	
■ 必修・選択の別		
選択必修		
■ 単位数	■ 曜日・時限	
1	火2～3	
■ 担当教員 (ローマ字表記)		
高柴 正悟 [TAKASHIBA Shogo]		

SDGs関連項目



■ 対象学生

全 歯を除く

■ 他学部学生の履修の可否

対象学生の項目を参照

■ 連絡先

電話番号 086-235-6675

Eメールアドレス stakashi@okayama-u.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日8:30-9:00 火曜日17:00-17:30 木曜日8:30-9:00 (いずれも、岡山大学病院 中央診療棟 4F 歯周病態学分野)

なお、変更がしばしばありますので、事前にe-mailで連絡があると助かります！ 本学の公用mail addressを使用して下さい。さもないと迷惑メールとして分類されて対応出来ないことがあります。)

■ 学部・研究科独自の項目

関連しない

■ 使用言語

学生により日本語又は英語

■ 授業の概要

以下を一般教養の範囲で

- ・口腔科学と全身の科学との関係を、主に感染症、慢性炎症、および免疫疾患の観点から概説する
- ・「口腔内科」の発展的・学際的な考え方を理解させるとともに“個別医療”の概念を教示する

■ 学習目的

健康長寿社会の達成のため、個人レベルから集団レベルで必要なものを考察し実行する自立した個人を形成することになる。

■ 到達目標

以下を一般教養の範囲で

一般目標(GIO) :口腔感染症の病態とその全身への影響を理解するために、歯周組織に関する生物学的な基礎知識および辺縁性歯周疾患と歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病態とそれに基づく治療法について理解する。

■ 授業計画

第1回 10月 5日

感染 臨床免疫学の概説: 基礎の復習と現代の臨床での問題点(易感染性宿主)

第2回 10月12日

歯周組織の特異性: 解剖学的な特徴からの問題点と一般的な生体反応の存在

第3回 10月19日

宿主-寄生体の相互反応: 組織破壊の原因

第4回 10月26日

常在細菌との共生: 消化管としての口腔と腸内の細菌叢

第5回 11月 2日

院内感染症: 易感染性宿主の増加, 薬剤耐性菌の増加, 歯科医療行為の潜在的感染拡散

第6回 11月 9日

エマージング感染症とパンデミック感染症: 組織的な原因追及とアウトブレイク対策

第7回 11月16日

口腔バイオフィルム感染症: 実態と全身への影響, そして対策

第8回 11月30日

試験とまとめ: 前半は試験, 後半は試験問題の解説から講義をまとめる

■ 授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む)

過去の講義資料の一部を事前に見ておくこと。以下のリンクからアクセス。パスワードは, ps6675。

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind21/lectures.html> なお, 実際には岡大moodleを使用するので, 事前・事後の自己学習を必要とする。

■ 授業形態

(1)授業形態-全授業時間に対する[講義形式]:[講義形式以外]の実施割合

50% : 50%

(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング

協働的活動(ペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど)

やや少ない

対話的活動(教員からの問いかけ、質疑応答など)

やや少ない

思考活動(クリティカル・シンキングの実行、問いを立てるなど)

やや多い

理解の確認・促進(問題演習、小テスト小レポート、授業の振り返りなど)

多い

(3)授業形態-実践型科目タイプ

該当しない

(4)授業形態-履修者への連絡事項

研究室のHP moodle上での予習・復習を含む。なお, 実際には岡大moodleを使用するので, 事前・事後の自己学習を必要とする。

配慮が必要な場合は履修登録前に担当教員に相談してください。

■ 使用メディア・機器・人的支援の活用

視聴覚メディア(PowerPointのスライド、CD、DVDなど)

多い

学習管理システム(Moodleなど)

多い

人的支援(ゲストスピーカー、TA、ボランティアなど)

やや少ない

履修者への連絡事項

プリント (PDF)、スライド、ビデオ、Internet等を使用します。もちろん、ICTも。板書もあり。

配慮が必要な場合は履修登録前に担当教員に相談してください。

教科書

教科書1	ISBN	9784862270160		
	書名	人は口から古い口で逝く 認知症も肺炎も口腔から		
	著者名	落合邦康		
	出版社	日本プランニングセンター	出版年	2021

備考

講義中に適宜紹介する。事前に、<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind2/cn11/pg60.html>にある「口腔 感染防御論」Oral Infection and Immunologyの資料を予習しておくこと。

参考書等 講義中に適宜紹介する。講義の資料も配布する。また、図書館とInternetを利用して検索を行い、情報収集することも必要になる。

岡山大学生協扱い教科書の購入方法は、教科書情報"Text-it" (テキストイト)

<https://okadai.text.univ-coop.net/>でご確認下さい。

参考書等

参考書1	ISBN	4163900357		
	書名	寄生虫なき病		
	著者名	モイセス・ベラスケス=マノフ著；赤根洋子訳		
	出版社	文藝春秋	出版年	2014
参考書2	ISBN	4309502008		
	書名	感染症から身を守る本：見えない敵の正体と脅威、これだけは知りたい		
	著者名	岡部信彦著		
	出版社	河出書房新社	出版年	2000
参考書3	ISBN	4167660164		
	書名	図解感染恐怖マニュアル		
	著者名	病原体との共存を考える会著		
	出版社	文藝春秋	出版年	2001
参考書4	ISBN	4005004911		
	書名	人類vs感染症		
	著者名	岡田晴恵著		
	出版社	岩波書店	出版年	2004
参考書5	ISBN	4087202577		
	書名	人体常在菌のはなし：美人は菌でつくられる		
	著者名	青木卓著		
	出版社	集英社	出版年	2004

備考

講義中に適宜紹介する。講義の資料も配布する。また、図書館とInternetを利用して検索を行い、情報収集することも必要になる。

成績評価の方法

★ 新型コロナウイルス対策後の日程変更によって講義回数が減少したので、毎回の講義後に小テストを課すことになりました。岡山大学moodleを使用して実施します。毎回のレポートと合わせて皆さんの理解度を判定します。(必ず事前に相談してください。試験形態を調整します。)

(旧:毎回講義内容とその感想をレポートにして提出してもらうことによって授業に対する姿勢とともに個人の知識や思考能力を評価する。また、講義内容に関する筆記試験(単に知識を求めるものではないことに注意)を行う。試験80点、レポート20点。)

受講要件

受講要件 健康な生活を望む人、健康科学に貢献したい人は、だれでも welcome! 予備知識は必要ないけれども、学び向上する意欲は必要です。なお対面講義の場合、規定の講義机に着席して受講することが求められます。)

教職課程該当科目

該当なし

■ JABEEとの関連

- (e)種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f)論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g)自主的、継続的に学習する能力
- (h)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力

■ SDGs関連項目

(保健)あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
(持続可能な都市)包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

■ 実務経験のある教員による授業科目

該当する

歯周病と全身疾患の関連性についての研究を行っている。特に歯周炎と糖尿病の相互関係を分子生物学的に解明すること、ならびに歯周炎が易感染性宿主に与える影響について解析している。歯科におけるこの分野の重要性は近年急速に高まっており、研究内容は講義に取り入れている。

担当教員は、歯科医師であり、Periodontal Medicineの研究と臨床実践を行っています。

■ 備考/履修上の注意

本科目は、開講学部以外の学生が履修した場合、教養教育科目あるいは他学部の専門教育科目として取り扱う専門教育科目です。*他学部の専門教育科目として取り扱う場合の講義番号は、開講学部のシラバスを確認してください。

歯学部の専門教育の一部を教養科目として公開したがって、講義は歯学部棟4階第一示説室で、歯学部生(約50人)と一緒に受講。講義は、教員にとって研究成果を学生諸君に分かり易く表現して知を継承するshow timeです。逆に、レポートは、学生諸君の考えを示すshow timeと考えて欲しい。Discussionは大歓迎。講義時間でも、e-mailでも、どうぞ。健康こそ究極の欲望かな、と最近考えています。みなさんも、少子高齢化の社会における自分の欲望と役割を考えてみてください。

担当教員は、歯科医師であり、感染制御の研究と臨床実践を行っています。